

平成26年度
「モラル・エッセイ」コンテスト受賞者一覧



福島県教育委員会

[審査結果]

この度は、「モラル・エッセイ」コンテストに多数の御応募をいただき、誠にありがとうございました。一次・二次審査を経て下記のように受賞者が決まりました。

受賞された皆様への表彰式は、平成27年1月6日(火)に県文化センターで実施いたします。9名の皆様、受賞おめでとうございます。

中学生の部 最優秀賞1名

「父の初恋」 白河市立表郷中学校 1年 渡邊 貴仁 さん

優秀賞2名

「あの海」 いわき市立小名浜第一中学校 3年 太 雪乃 さん

「親切料」 白河市立表郷中学校 1年 中畑萌々子 さん

高校生の部 最優秀賞1名

「コーヒー牛乳」 白河高等学校 1年 大越 千誉 さん

優秀賞2名

「私の仏様」 白河高等学校 1年 荒井 寿美 さん

「自分を福島県人であると意識したとき」
いわき海星高等学校 3年 大和田拓宏 さん

一般の部 最優秀賞1名

「地域とのつながり」 白河市在住 佐藤かおり さん

優秀賞2名

「犬猫たちの震災」 いわき市在住 曾我 泉美 さん

「ゴールを目指して」 福島市在住 宍戸 悦子 さん

[応募総数]

	中学校	高等学校	一般	計
応募総数	1181	270	8	1,459

〈審査委員〉

一次審査 義務教育課指導主事
高校教育課指導主事
二次審査 上越教育大学 副学長 林 泰成 氏
福島県教育庁教育総務課長 大類由紀子
福島県教育庁高校教育課長 大沼 博文
福島県教育庁義務教育課長 飯村 新市

[講 評]

- 日常生活の中で出会った身近なエピソードを題材にした作品が多くありました。人間のやさしさ、温かさ、前向きに生きるたくましさ等が伝わってくる作品が多くありました。
- 体験したことだけでなく、自分が感じたことや考えたことを読み手によく伝えるように工夫して書く、さらに素敵な作品になるものがありました。